

伊賀市議会行政視察研修報告書

伊賀市議会議長 空森 栄幸	報告者	議員名生中 正嗣
---------------	-----	----------

参加者名	生中 正嗣、赤堀 久美、中谷一彦、近森正利、		
------	------------------------	--	--

①	視察日時	2月21日 13時30分	視察先	岐阜県羽島市役所
---	------	--------------	-----	----------

	研修事項	庁舎新築と旧庁舎の保存について		
--	------	-----------------	--	--

	視察日時		視察先	
--	------	--	-----	--

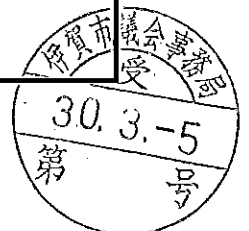
	視察事項			
--	------	--	--	--

【研修の成果】

イコモス国内委員会によって日本の20世紀遺産に当市の南庁舎を含む建物群が選定されたことにもない、同じ設計者の生誕地であり又、設計者が同一の市庁舎の建て替えを決定された岐阜県羽島市を視察しました。昭和34年に建設され築59年が経過し、狭歪、耐震強度、バリアフリーを含めた現庁舎を改修による活用保存、もしくは隣接敷地に新築という2案を検討のため検討委員会を設置し、結果、現敷地内に新築という答申であった。又市民に対し2案についてタウンミーティング、無作為によるアンケート調査を実施し、7割以上が新築すべきとの意見であったことから市も議会も方針を決定されたとのことである。羽島市庁舎も伊賀市の南庁舎と同様に各団体から保存要望もあったとのことであるが、安心、安全な拠点施設として民意を尊重されたとのことである。又現庁舎の活用について市としては考えておらず、民間の方々で改修費、維持管理経費を投資されるなら活用もあり得るが、なければ解体する方針とのことであり、坂倉順三氏の生誕地であったとしても市民はその認識が薄いとのことであった。「保存ありき」で進めるか「民意を尊重する」かの違いを学び、大いに参考となりました。

『詳細資料は別紙のとおり』

費用	旅費 7080 円	研修参加費	円
----	-----------	-------	---



旅費請求書続紙(生中議員)

出張月日	出発地	経路	到着地	鉄道・船・車賃				食卓料	日当		宿泊料		出張理由 (目的・場所)
				料程	運賃 円	特急料金 急行料金 円	寝台料 円		日数 日	額 円	宿泊 夜	額 円	
2月21日	伊賀神戸	近鉄	名古屋	112.2	1,560	1,320						羽島市 行政視察 羽島市庁舎に関する 議論について 13:15~14:45	
	名古屋	名鉄	羽島市役 所前	36.7	660								
	羽島市役 所前	名鉄	名古屋	36.7	660								
	名古屋	近鉄	伊賀神戸	112.2	1,560	1,320							
計					円 4,440	円 2,640	円	円		円	円	合計 7,080	

○名鉄名古屋～笠松間(27.1km)の座席指定料金は距離が40kmに満たないため支出出来ない。

領収書等添付用紙

議員名

生中正嗣

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

領 収 証

No. 07781

生中正嗣 様

金額	千	百	十	円	千	百	十	円
				円	2	6	4	0

ただし 特急券代

上記の金額を領収いたしました。

2018年2月20日

収 入
印 紙

伊賀鉄道株式会社

上野市駅

発行

取扱者

